

黒川ダリヤ園

開園期間： 9月9日(金)～11月6日(日)
 期間中無休
 開園時間： 午前9時から午後4時まで
 協力金： 300円

■車を利用する場合

国道173号から一庫ダム方面へ。チェリーゴルフときわ台コース入口横から黒川方面へ約600m(無料駐車場は、台数に限りがあります)

■公共交通機関を利用する場合

能勢電鉄「妙見口」駅から阪急バス乗車、「黒川」停留所下車後、徒歩約20分
 (日曜、祝日のみ臨時運行バスあり、阪急バス「黒川ダリヤ園」停留所下車後、徒歩約1分)



今年「美青年」という品種が新しく加わります。先が尖った細長い花びらで、色は紫がかかった桃色。整った花の形が魅力です。ダリアは朝晩が冷え込むと花色がさえ、ひときわ美しさに深みが増します。今年の見ごろは、暑さの影響もあり、例年より少し遅めの10月上旬から下旬までとなる見込み。

秋の一日、「にほんの里100選」にも選ばれた里山に咲く、色とりどりのダリアをお楽しみください。

黒川ダリヤ園に行く前に…

ダリアの種類

ダリアは、世界に3万種を超える品種があると言われています。大きさは直径5cm以下のものから、30cmに近い巨大輪まで。色も白、黄色、紫の他、オレンジなどさまざまです。

「ヒフミの想い」

「男の背中」

「夕日の子」

「ダリヤ」と「ダリア」

通常「ダリア」と表記しますが、寄贈元の山形県川西町では、明治時代に使われた「ダリヤ」という呼び名を尊重し、表現しています。そのため、川西市も園の名称を「ダリヤ園」と表記しています。

市中心市街から車で約40分、毎年約1万5000人が足を運ぶ、黒川ダリヤ園が今年もオープンします。

同園は「友好の証」として、山形県川西町から寄贈されたダリアの球根を植え付け、造られたのが始まり。現在は、約0.6haの園内に新品種を加えた450品種1200株のダリアが植えられ、黒川地区の皆さんが育成・運営しています。

シーズン中には、休憩施設や売店などを併設。家族連れやカップルなど、ゆったりと花を楽しむ人や、美しい花を写真に収めようと、カメラを構える人でも

秋の訪れを知らせるダリア

約1,200株が里山で咲き誇る

黒川の花園

9月9日からオープン!
見ごろは10月上旬～下旬

先着
3,000人
募集

一庫ダム周遊 マラソン大会

11月20日(日)開催

受け付けは10月7日まで

毎年恒例、秋の一大イベントのエントリーを開始しました。距離別の5種目なので、おとな子どもも気軽に参加できます。家族で、友達同士で、体を動かしてみませんか

問合せ 文化・観光・スポーツ課 ☎(740)1245

主催：市・川西一庫ダム周遊マラソン大会実行委員会

【種目・資格】①2kmペアの部＝小学生と保護者のペア②3kmの部＝小学5・6年生男女、中学生女子③5kmの部＝中学生以上の男子、15歳以上の女子(中学生は除く)④10kmの部＝15歳以上の男女(中学生は除く)⑤ハーフマラソンの部＝15歳以上の男女(中学生は除く)

【参加料】①1,500円②1,000円③④3,000円(高校生2,000円、中学生1,000円)⑤3,500円(高校生2,000円)

【申し込み方法】インターネット (<http://runnet.jp/> または <http://www.e-marathon.jp/hitokura-dam/>) または、市役所2階の文化・観光・スポーツ課や社会体育施設などに備え付けの申込用紙に必要事項を書き、参加料を添えて10月7日(金)までに同課(同大会事務局)へ持参してください。郵便振替を希望の場合は、エントリーセンター☎079(420)6663へ(先着順)



立秋も過ぎ、暦の上ではもう秋。まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は過ごしやすくなってきたように思います。

秋といえば、スポーツや芸術などに、意欲的に取り組むことが多くなる季節。市内でも、各地域でさまざまなイベントが開催されます。

私も毎年拝見していますが、地域ごとに工夫が凝らされた催しには、それぞれ

川西市長の あんばい話

各地域で秋のイベント開催
楽しみながら地域交流を

特徴があり、高齢者から小さな子どもたちまで、多くの方が楽しんでいる様子に、地域でのイベントの大切さを実感します。

もちろん、このようなイベントの開催は、地域の皆さんのご努力があってこそです。朝早くからの準備や、夜遅くまでの片付けなど、毎回頭が下がる思いです。

普段あまり外出されない方も、せっかくのこうした機会にぜひ一度訪れて、地域の皆さんとの交流を楽しんでいただければと思います。

また、まもなく「黒川ダリヤ園」がオープンを迎え、9月1日から「一庫ダム周遊マラソン大会」の募集が始まります。私も数年前、5kmの部に参加しましたが、色づき始めた里山を目にしながら汗をかき、すがすがしい気持ちになったのを覚えています。

皆さんもぜひ、多様な川西の秋を満喫してください。

大塩民生

あんばい話をかわかし